

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報

2009.7.25

No. 49

連絡先 042-555-1911



核兵器廃絶めざして平和行進が西多摩に行く！



原水爆禁止国民平和大行進の北海道ー東京コースは、15日、檜原村で山梨県より東京に引き継がれました。西多摩では15日から17日まで4市3町1村の全自治体を、核兵器廃絶を訴え行進しました。

17日は、通し行進者のコースは、日の出町役場を出発、あきる野市役所から福生公園へ、15日奥多摩町を出発したコースは青梅市役所、羽村市役所、福

生市役所を経て福生公園へ、瑞穂町役場からのコースも羽村を通り福生公園へと3コースが福生公園に集結しました。上の写真は、元気に商店街を行進する参加者。

右の写真は加藤育男福生市長。福生市長として初めて平和行進参加者と面会し、「世界平和都市宣言をし、横田基地を抱える福生市。人類の恒久平和を目指すのはわれわれの責務」と、参加者を激励しました。



福生公園の集会では、通し行進者の五十嵐成臣さん、東京原水協の石村和弘事務局長の話があり、あきる野原水協の瀬沼さんは、長崎の世界大会参加を表明しました。その後行進団は、横田基地のフェンス沿いを行進しました。



三宅一生氏 核廃絶訴え 米紙へ被爆体験寄稿「目を閉じれば…今も見える」

国際的なデザイナー、三宅一生氏が14日付の米紙ニューヨーク・タイムズ（電子版）に寄稿し、「核兵器のない世界の実現」を呼びかけたオバマ米大統領の演説に感銘を受けたとして、広島での自らの被爆体験も紹介して、核兵器廃絶と世界平和の実現を呼びかけました。

三宅氏は7歳で被爆。しかし『原爆を生き延びたデザイナー』とは呼ばれなくなかった。だからいつも、広島にかかわる質問は避けてきた」と振り返りました。

ところがオバマ氏が4月に核兵器廃絶を訴えたことが、「私の奥底にしまっていたものを呼び起こした」として、「（被爆者だと）声を上げることは個人としての道義的責任だ」と表明。「目を閉じれば、だれもがけっして体験してはならないことが今も見える」として、被爆体験を紹介しました。「もし世界から核兵器をなくそうと思えば、（被爆体験は）議論されなければならない問題だ」と表明しました。

またオバマ氏に対し、「将来の核戦争をなくすために努力することが、米大統領の目指すものだとすることを示すため」広島を訪問するよう求めています。（7月16日付しんぶん「赤旗」より）

米ミサイル駆逐艦、横浜・大棧橋に入港 「親善」口実に「一般公開」も 労組、民主団体、横浜市に緊急抗議と申し入れと宣伝行動

(神奈川平和委員会ピースメールの転載です)

一般公開する船ジョン・S・マケインは、1994年に就役、97年に第7艦隊に所属し、横須賀を母港とした。ミサイル防衛対応イージス艦。今年6月に監視していた中国潜水艦が曳航ソナーに接触、これを損傷した。ミサイル関連の部品を積んだ可能性があると言われる北朝鮮船籍の船を追跡し、貨物検査に関連して最近話題になった船。7月21日、横浜市の大さん橋国際客船ターミナルに着岸した。



7月17日には、横浜労連、横浜市従、港湾労協、横浜地区労、新婦人、平和委員会、原水協、安保など8団体は、中田横浜市長宛に抗議と申し入れを行った。要請は、「米イージス艦ジョン・S・マケインは、横須賀を母港とする米海軍戦略の中心を担う軍艦で、どのような理由を付けようと、親善・友好を果たせる軍艦ではありません。直ちに入港を取り消すように」と求めた。応対した、金井良樹港湾局副局長・海フェスタ事務局長は「150周年と海フェスタのお祝いと親善とのことで受け入れた。断る理由はない。」と開き直る。

ジョン・S・マケインは21日午前9時20分ごろに到着。金田孝之副市長らが出席し、セレモニーが行われた。22日午前11時～午後3時、先着2千人に一般公開された。

当日は、上記の各団体を中心として、大棧橋で抗議の宣伝行動を行った。参加者20人に対し40人の制服警官と港湾職員が抗議行動を妨害し抑圧した。「大型客船が利用する大さん橋に米海軍艦船が寄港するのは極めて異例。在日米海軍は、横浜開港150年記念の関連イベントへの参加と説明しているが、米海軍が最近、全国で進めている民間港使用の実績づくりの一環とみられる。」との共同通信を各紙が報道した。(写真：7月21日、横浜大棧橋、神奈川平和委員会提供)

横田基地 航空自衛隊航空総隊司令部棟の建設工事現場をのぞむ

五日市街道を東京方面から西に向かってきて旧五日市街道にはいるとやがて横田基地にぶつかります。そのあたりから、航空総隊司令部棟の建設工事現場をのぞむことができます。

司令部棟の地下部分をつくるための掘削・残土搬出は終わり、現在は基礎工事ということなので、建設工事現場は、クレーンなどが見えるだけですが、それでもかなり広い範囲の工事が行われていることが想像できます。工事完了は2010年9月末の予定です。

滑走路（黄色い線が見える灰色の部分）がけっこう盛り上がっているの、後方の建物が低く見えます。後ろの背の高い建物3棟は米軍高層住宅です。右高層住宅の手前の塔はマイクロウェーブ通信塔。中右寄りに木が2本立っていて見えづらいですが、クレーンの手前の建物が第5空軍司令部・在日米軍司令部と思われます。手前の大きな建物は飛行機の格納庫。一番手前は、鉄条網のフェンスです。

